

## CULTURE 関テレ×シティライフ 特別企画 「劇場版シグナル」公開記念でエピソードを募集

2018年に放送された連続ドラマ「シグナル 長期未解決事件捜査班」が、3月30日(火)よりにスペシャルドラマを放送。そして、劇場版が4月2日(金)より全国の映画館で順次公開される。坂口健太郎演じる“現在”を生きる刑事と北村一輝演じる“過去”を生きる刑事が、過去と現在を繋ぐ無線機を頼りに、長期未解決事件に挑む!

映画公開を記念して、シティライフでは関西テレビ(以下、関テレ)と素敵な商品が当たるコラボ企画を実施。映画にまつわるエピソードを募集します!

テーマは「あなたの”やりなおシグナル”」。「あの時〇〇していたら、××だったのに」というような皆さんの変えたい過去、「たられば」のエピソードを教えてください。



4月2日(金)公開  
詳細は公式ホームページからご確認ください。  
<https://signal-movie2021.jp/>

〔応募方法〕

氏名、住所、電話番号、エピソード(150字以内)などを明記の上、下記URLのフォームから応募ください。締め切りは4月12日(月)18時。3/29までの応募作品は、3/30ドラマ配信イベント内で出演者が特別賞を決定!  
[https://ssl.toho-movie.com/sendin/signal\\_epi/](https://ssl.toho-movie.com/sendin/signal_epi/)

坂口健太郎サイン入り映画ポスター  
など豪華賞品がプレゼント!

結果発表は5月号と、作品の公式HPなどで発表を予定しています。



(左)岩手県の釜石市の南部藩壽松院年行司支配太神楽(なんぶはんじゅうしょういんねんぎょうじしはいだいかぐら)

(右)国立民族学博物館、広報の伊藤さん

## CULTURE 東日本大震災から10年 地域文化の力を伝える特別展開催中

国立民族学博物館(吹田市)で、特別展「復興を支える地域の文化—3・11から10年」が開催されている。5月18日まで。

実行委員長・日高真吾さんによると、東日本大震災では、郷土芸能の再開が復興の原動力となった。そこで、第1章では三陸に伝わる郷土芸能「おぼろ仰山流りゅう笹崎鹿踊り」(大船渡市)、「おおつらしろ大槌山虎舞」(上閉伊郡大槌町)など6つの芸能を紹介。復興を後押しする地域文化の可能性を探る。会場には祭囃子が流れ、衣装をまとったスポーツ用のマネキンが芸能特有の動きを細部まで再現。現地の雰囲気も伝えている。

第2章では、被災した文化財を救出し、保管する「文化財レスキュー」の活動を紹介。石巻市釜谷地区で救出された、同地区の檀那寺「観音寺」の「大般若経」や、獅子舞で用いる「獅子頭」などが展示される。これらは同地区で江戸時代から続く「大般若経巡行行事」で用いられるもので、「大般若経」は地域住民によって自主的に瓦礫の中から拾い集められ、技術者の指導のもと

修復作業が進められた。

第3章では、宮城県西部に位置する牡鹿半島鮫川浜の捕鯨文化などを紹介し、地域文化が災害をきっかけに意識され、あらたに研究が進められていくことを伝えている。第4章では、明治29年の津波を伝える岩手県釜石市の「海嘯遭難記念碑」など、被災の教訓を後世に伝える記録を展示する。

12枚の大漁旗が会場を彩り、復興を支えてきた漁師町の地域文化に触れることができる本展。同館の人文知コミュニケーター神野知恵さんは「地域の人のために行われてきた東北地方の郷土芸能は、これまで関西ではあまり知られてこなかった。外出が難しい状況ではあるが、たくさんの人に来てもらえたら」と話している。

関連イベントとして、南三陸町の漁村・波伝谷に密着した「願いと揺らぎ」、石川県輪島市皆月の山王祭をめぐる人々を描いた「明日に向かって曳け」の上映会なども開催。要事前申し込み。詳しくは同館ウェブサイト。

## CULTURE CityLife創刊35周年記念企画 「北摂まち本」

情報紙CityLifeの取材を通して見えてきた、北摂ならではの魅力。それらを1冊にまとめたムック本を6月下旬に発売する。「地元の魅力を再認識してもらいきっかけになれば」という思いから、まちの歴史や文化、豊かな暮らしを支える商店、さらに人に焦点をあてた特集など、様々な角度から北摂の魅力を紹介していく。



北摂まち本

〔発売日〕6月下旬 価格:未定  
〔販売〕北摂エリア、大阪、神戸、京都、滋賀の書店、北摂エリアのコンビニ

## CULTURE SDGsや環境保全に興味のある大学生の 新たなガクロハメンバーを募集中

2009年から「ロハスを学ぶ・感じる・発信する」をテーマに活動を続けてきた学生ロハス実行委員会「ガクロハ」。万博公園での「ロハスフェスタ」で出会った関西の大学生たちが立ち上げた関西学生団体だ。

これまで服部緑地等で開催してきた自主イベント「GREEN×LOHAS FESTA」や吹田市資源リサイクルセンター「くるくるプラザ」で子どもたちに向けた廃油キャンドルづくりなど、エコや環境保全を楽しく生活に取り入れるための活動を続けてきた。

3月までガクロハの代表を務めていた大阪女学院大学 国際英語学部の卒業生・山田実那美さんは、高校の部活の先輩に誘われて、ガクロハのメンバーに。「大学での専攻が英語で地球の環境問題を学ぶことだったので、活動を通して多くのことを学びました。ガクロハの魅力は、イチから企画を立ち上げて、関係各所の皆さんや仲間と協力しながらイベントの実現に向けて作り上げていくこと。様々なやりとりをするので、学生時代から社会との接点を持てたことは、



(上)様々な大学の学生たちで構成されていたガクロハメンバー  
(右)前代表の山田実那美さん



とてもいい経験になりました」と山田さん。

そして今、新たなガクロハメンバーを募集中。「これからは、一人ひとりが環境保全について取り組み、持続可能な社会の実現をめざして行く時代になると思います。SDGsやロハスに興味のある大学生の皆さんにガクロハの活動をぜひ引き継いでほしいです」と山田さん。興味のある方はガクロハ公式WEBサイト内にある「ガクロハメンバー」ページのフォームから応募を。



## SOCIAL 2019年ノーベル化学賞受賞の 吉野 彰さんが、初の吹田市名誉市民に

現代のIT社会に欠かせないリチウムイオン電池を開発し、2019年(令和元年)にノーベル化学賞を受賞した吉野彰さん(旭化成株式会社名誉フェロー)に対し、出身地である吹田市はその功績と栄誉を讃え、令和3年3月に「名誉市民」の称号を贈った。

吉野さんは吹田市千里山出身。市立千里第二小、市立第一中から府立北野高、京都大学大学院を経て同社に入社。当時

の小学校の先生が薦めてくれた一冊の本「ロウソクの化学(マイケル・ファラデー著)」や化学の不思議な世界を教わった理科の授業をきっかけに化学に興味を持ったという吉野さん。「子ども時代の自然に恵まれた環境が自然科学や化学の道に導いてくれたように感じています。吹田市名誉市民に選ばれ大変名誉に思っております」とメッセージを寄せている。

## SOCIAL コロナに関する給付、 支援金など改正や新たな制度も

### 【個人向け一時支援金】

対象	全国民	吹田市民
制度名	低所得の子育て世帯に対する子育て世帯生活支援特別給付金(仮称)	吹田市新生児健やか子育て臨時給付金
条件	児童扶養手当受給者等(低所得の1人親世帯)および、住民税非課税の子育て世帯(低所得の2人親世帯含む)に子ども1人あたりに一律5万円を支給	吹田市に住所を有する令和2年4月28日から令和3年4月1日までに生まれた子の父又は母に新生児1人につき5万円を支給

### 【事業者向け一時支援金】

2021年1月に発令された緊急事態宣言に伴う、飲食店の時短営業や不要不急の外出・移動の自粛により、売上が50%以上減少した中小法人・個人事業者などに「緊急事態宣言の影響緩和に係る一時支援金」が給付される。

給付額	2019年又は2020年の対象期間の合計売上-2021年の対象月の売上×3ヵ月
中小法人等	上限60万円
対象期間	1月~3月
個人事業者等	上限30万円
申請受付期間	2021年3月8日~5月31日

### 給付対象のポイント

- ① 給付要件を満たす事業者であれば、業種や所在地を問わず給付対象
- ② 地方公共団体から時短営業の要請を受けた「協力金」の支給対象の飲食店は給付対象外
- ③ 店舗単位・事業単位でなく、事業者単位で給付

■「雇用調整助成金」特例措置は、縮減されながらも継続されると厚生労働省が方針を発表した。

※詳細は各ウェブサイトを確認(3月19日時点)